

れた地溝・地塁構造が空中磁気および重力探査データによって抽出されているが、これに対応するリニアメントは SAR 画像上では抽出されていない。これは基盤構造が洪水玄武岩の分布に大きな構造的影響を与えておらず、また洪水玄武岩噴出以降、本地域においては大きな構造運動がなかったことを示している可能性がある。

(2) 環状構造

本地域においてはリニアメントと同時に多くの環状構造が抽出された。このうち地質上の環状構造と明確な対応を持つものは Lages 地区の環状構造である。Lages 地区には古生層中に貫入している大規模な環状アルカリ複合岩体が存在しており、これが明瞭な環状地形として抽出されている。また、洪水玄武岩分布において、隕石孔に対応する環状構造が抽出されている可能性が考えられる。

2-3-2 ランドサット TM 画像

パラナベーズン全体をカバーするランドサット TM 画像 74 シーンのモザイク画像をオーストラリアの GEOIMAGE 社より購入し、縮尺 1/2,500,000 の大スケールで画像判読を行った。画像のデータ容量を圧縮するため地上分解能を 200 m 程度と粗くしたが、このような大スケールでの解析には十分である。画像判読は RGB=345 のフォールスカラー画像を用いて行った。出力例を Fig.II-2-3-2 に、判読結果図を Fig.II-2-3-3 に示す。

パラナベーズンは、全体として非常に平坦な地形を示しており、リニアメント密度は低い。リニアメントとしては、JERS-1/SAR 画像と同様に Ponta Grossa Arch の岩脈群が明瞭に抽出された。この岩脈群は非常に大規模なもので、個々の岩脈が縮尺 1/2,500,000 の画像でも抽出される。洪水玄武岩分布域のリニアメント密度は特に低いが、調査地域中央部を流れるパラナ川は非常に直線的で、またパラナ川に沿って NNE-SSW 系のリニアメントが抽出された。従ってパラナ川自体が大規模な断裂帯を示している可能性も考えられる。また、調査地域東縁部に存在するアルカリ複合岩体が明瞭な環状構造として抽出された。

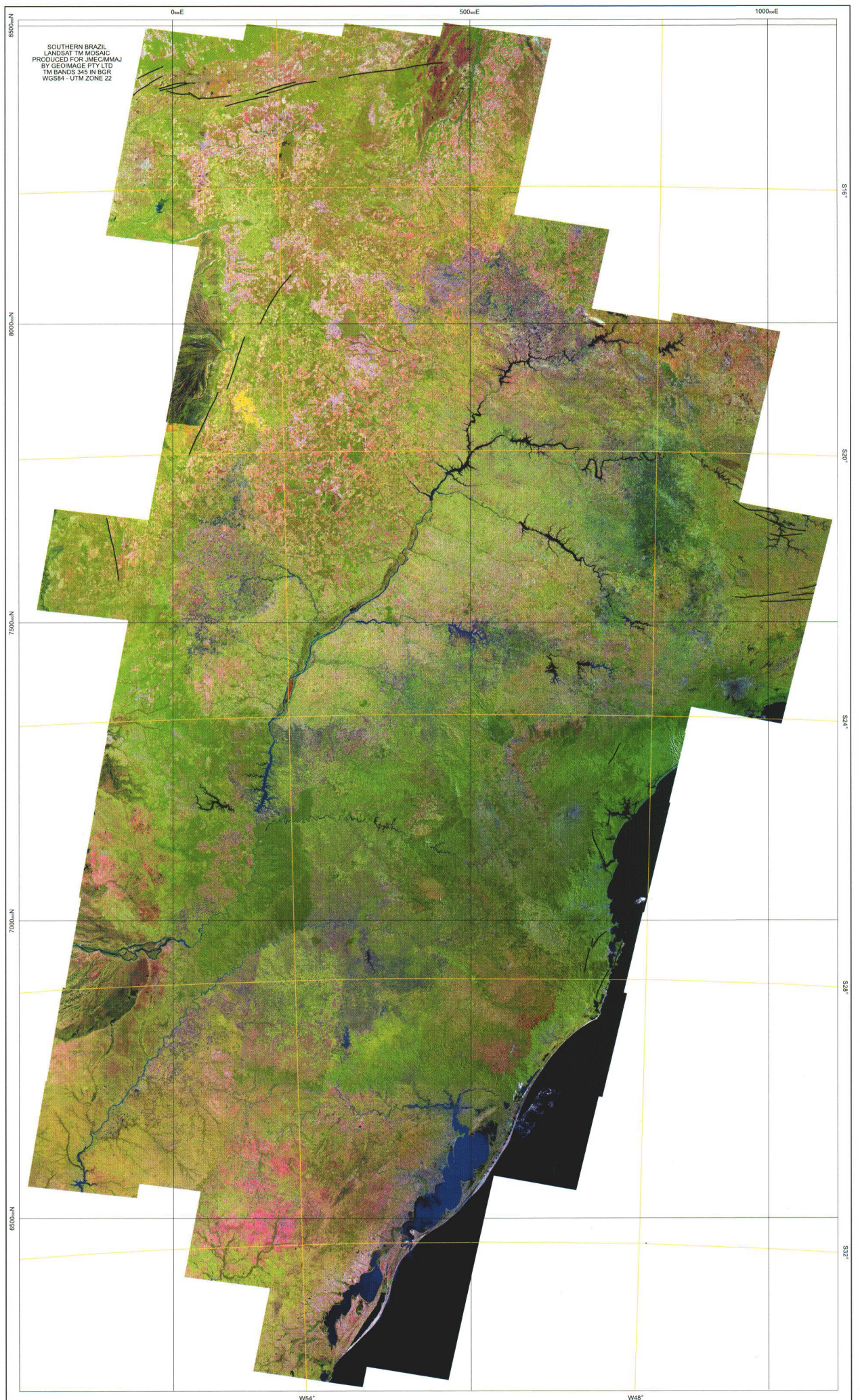


Fig.II-2-3-2 Landsat TM mosaic image

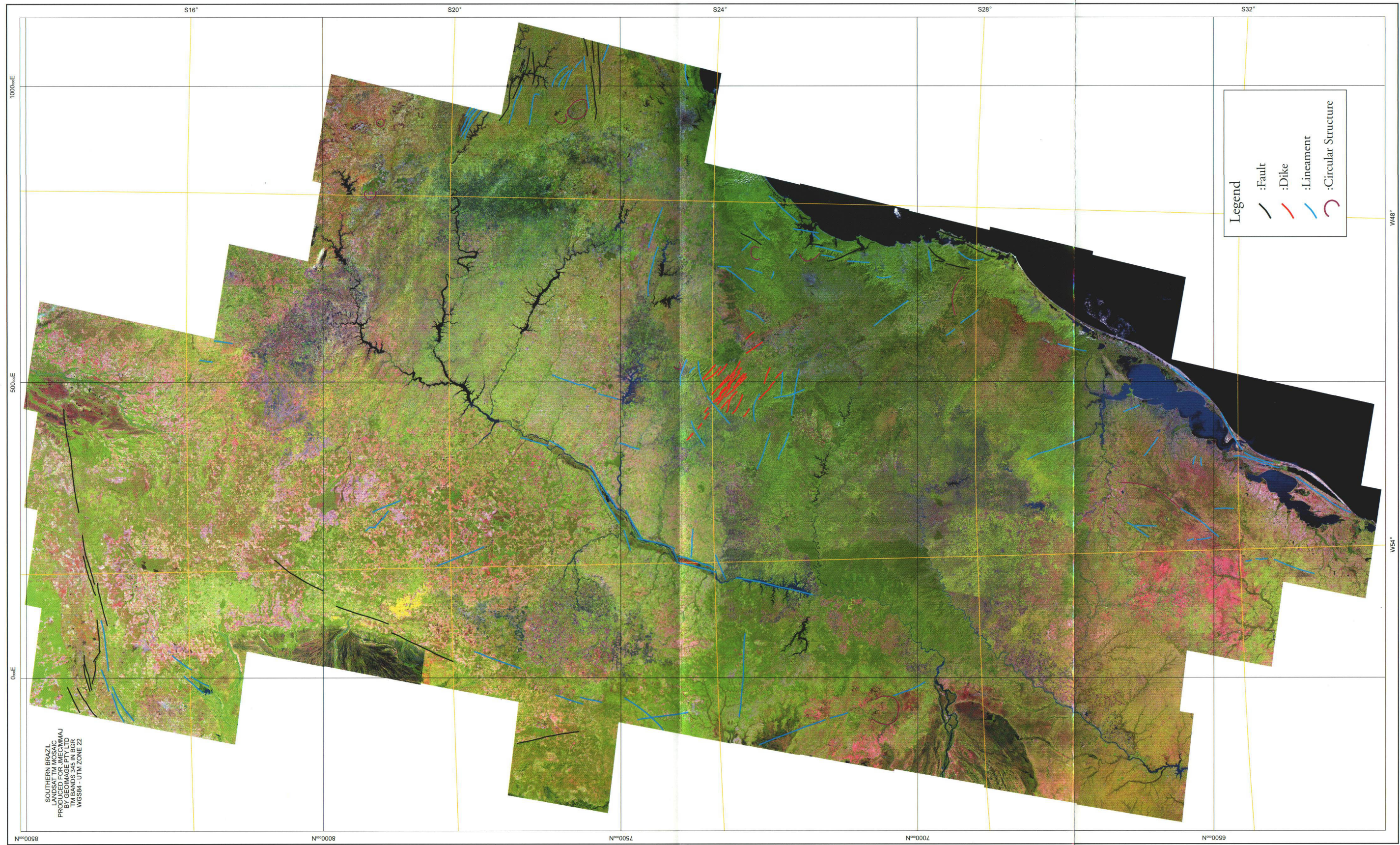


Fig.II-2-3-3 Interpretation map based on Landsat TM mosaic image